

汚れを落とし、 水もきれいにする洗剤

株式会社アップサイド 地球洗い隊

微生物の力を借りて、汚れを落としながら自然環境もきれいにしていく。革命的ともいえるエコ洗剤は、全国に5万人もの愛用者がいます。

大阪府大阪市



どんな会社？

「地球を洗う」洗剤

家中どの掃除にも使えて、掃除を終えた後の水が流れる排水溝、さらにその先の海や川もきれいに。そんな魔法のような洗剤「とれるNO.1」を販売しているのがアップサイドです。社長の小山田光正さんは、「水を節約して、きれいにすること。自分にも地球にも心地よくらし方を提案していきたい」と2003年、インター

ネット通販サイト「地球洗い隊」を立ち上げ、「とれるNO.1」の販売をスタート。「とれるNO.1」は、米ぬか、微生物など自然の成分だけを使って作られています。化学成分を使わず、ガンコな汚れをすりと落とすこのエコ洗剤は、「掃除が楽しくなった」と全国のお客さまに喜ばれています。



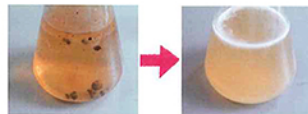
人気商品「とれるNO.1」のシリーズ。原材料には、日本ならではの素材、米ぬかが使われています。



こがエコ！

微生物が汚れを分解

化学成分が入った洗剤の多くは、よごれや洗剤がそのまま海や川に流れてしましますが、「とれるNO.1」はちがいます。主な原材料は、米ぬか、フスマ（麦のぬか）、酵素、人や自然環境に害を与えない有益微生物。この微生物がよごれを分解しながらきれいにしてくれるので、その後流れる排水溝も、海や川もきれいにします。一般的な洗剤に使われる、油汚れを落ちやすくするための合成界面活性剤など、化学成分を一切使わなくても、しっかり汚れを落としながら、自然環境もはぐむ洗剤なのです。



はりついた油汚れが、1週間後にはサラサラに。



なべにこびりついた汚れも、ピカピカになります。

町工場で誕生

「とれるNO.1」は、大阪の小さな工場で作られています。京都のある神社の池の水をきれいにし、絶滅の危機に瀕している生物を守りたいという依頼から開発したせっけんが、そもそもの始まり。そのせっけんを池の水に入れれば

くすると、生物がよみがえり、実験は見事成功。それが元となり、「とれるNO.1」が生まれたのです。これ1本で家中がきれいになると評判が広がり、販売から約11年で愛用者は5万人以上。今もひとつひとつついでに作られています。

「とれるNO.1」ができるまで



1 新鮮な米ぬかやフスマ、微生物の粉末を入れ、混ぜ合わせます。



3 泡が立っているのは微生物が生きている証。このまま24時間熟成させます。



2 よくまぜた粉末をバケツに入れ、適温のお湯を足し、さらにまぜます。



4 タンクに移し、さらに蒸成。完成後は、1点1点手作業で容器につめます。